

2 0 2 5 年 度 事 業 報 告

社会福祉法人 青 梅 福 祉 会

第1 事業結果の概要と運営方針

1	保育理念	1
2	保育の方針	1
3	財政の健全化	1
4	職員資質の向上	2
5	地域社会との交流	2
6	安全対策	2
7	苦情処理	2
8	第三者評価	2
9	IT 活用	2

第2 法人関係

1	法人役員の定数とその構成	2
2	法人（理事長・理事・監事）役員の任期	2
3	役員会会議実績	3
4	役員研修実績	5
5	定款・規則等の制定・改廃	5
6	許認可申請および内容変更申請等	6

第3 施設関係

1	職員配置	6
2	職員会議実績	7
3	職員の健康管理	9
4	研修実績	10
5	園児処遇関係	12
6	施設整備状況	15
7	災害対策	16
8	保護者との関係	16
9	地域社会との関係	17
10	苦情処理	17

第4 添付書類

法人役員名簿	18
保育の年間指導計画書振り返り	19

* 個人情報使用については、利用目的以外には使用いたしません

事業報告書

第1 事業結果の概要と運営方針

1 保育理念

地域に支えられながら子ども一人一人の人格を尊重し、心身の成長を促し大切に保育する。

2 保育の方針

インクルーシブ保育について職員と学び共有し実践を行ってきた。例えば神経発達症の園児と関わる時は療育センター発達支援士の指導を仰ぎ、その特性を理解し他児と充実した経験が出来るよう導いてきた。発達支援事業所に通所している園児は園生活との両立を図れるよう事業所の送迎バス乗降の援助を行った。医療的ケア児や重度の疾病を持つ園児は主治医の意見書に従い特別な配慮を行い、保護者様の気持ちに寄り添いながら園生活を継続してきた。それぞれの個性や事情を持つ園児が共に園生活を送り、ホームページに掲載の「みんな違ってそれで良い」の通りお互いの特性を理解し思いやりを持ち全ての園児の優しい心を育んできた。

また、本年度初めて取り組んだ「木育活動」は木の手触り、形、匂いなどに触れ五感を研ぎ澄まし好奇心が引き出され園児の心に残る貴重な体験となった。

今年度の目標である「親子の思い出を保育園が率先して作る」その実践として「こどもの夢と未来舎佐藤講師による親子リトミック&育児講座」「S & Dたまぐーセンターであおうめまつり」「青梅第1小学校体育館で運動会」を開催したが職員の創意工夫が十分に発揮されご家庭と保育園を繋ぐ素晴らしい会となった。今課題になっている「育児を孤立させない」ことの一助となり笑顔に満ち溢れた交流の場となった。

この経験を生かし次年度の「あおうめまつり」は卒園児とご家族様も招待し、保護者様によるお囃子などを計画し交流の場を拡大する予定である。

3 財政の健全化

「医療的ケア児の受入れ」「市役所の職員による不適切保育研修会」「職員のメンタルヘルスケア研修会」の開催、「東京都すくわくプログラム事業による園庭整備」「保育実習生の受入れ」「青梅第1中学校ボランティア部による園児との交流」など園児や職員の有益性に考慮した補助金を活用し園の財源とした。

運営費の財源となる園児数は4月当初0歳児は認可人数6名からスタート出来た。弾力運営として5月以降2名を増員した。しかし、育児休暇制度の充実から2名の入所が予定より遅れる結果となった。

1歳児は認可人数10名からスタート出来た。5月から弾力運営として2名を増員し、5月から医療的ケア児を受入れ、11月は1名の入所、これにより年度末は保育室面積基準を満たす0・1歳児の確保は出来たが、今後は4月からの園児確保を視野に入れ職員の配置と入所状況に考慮し2歳児の定員を減らし0・1歳児の認可人数を増員する必要があると感じている。

4 職員資質の向上

本園は職員に対し研修会の参加を十分に呼びかけ受講の機会を設けているが、研修報告の場が少なく研修の成果が十分に反映していないと感じている。今後は研修会で学んだことを職員間で共有し旧態依然の保育のあり方を脱却し、時代に合った保育園のあり方を職員全員が意思統一することが本園の現在の課題である。

5 地域社会との交流

「保育所体験」「園庭開放」は近隣の未就園児を招き園児と一緒に園生活の体験が出来た。園児と楽しそうに関わる姿を微笑ましく見る保護者様の表情が大変印象的だった。5月の青梅大祭は年長児が地元滝ノ上町の山車を曳くなどの体験を通して地域との交流を深めることが出来た。

6 安全対策

園児の安全を第一に、園舎内や園庭に至るまで日常的に安全点検を行った。園児のトラブルや怪我の発生時は職員で防犯カメラの映像を検証し、保護者様の立ち合いの下、防犯カメラの画面起こしを行い情報提供した。ヒヤリハット報告書の記入、安全委員会も引き続き開催、置き去り防止のための人数点呼をダブルチェックした結果、園外保育は無事故で行うことが出来た。

7 苦情処理

第三者評価で保護者様からいただいた「見直して欲しいご意見、ご要望」は職員で情報共有し、可能な限りそれらを参考に保育サービスの向上に努めた。また、保育・運営に関するルールの変更は、職員がその意図を保護者様に正確に説明出来るように意識の統一に努めた。

8 第三者評価

東京都福祉サービス評価推進機構第三者評価を受審した結果、保護者様から本園に対して大変満足している。満足しているが100%と極めて高い満足度を獲得出来た。特に職員の対応、人柄、どの先生も愛情深く接してくれる、保育内容も心身の発達に役立つ活動の実践、子どもを尊重した対応などが満票で第三者評価報告書から「稀に見る高評価」とその結果を頂戴した。今後も福祉と教育を両立しその向上に努めていきたい。

9 I T活用

I C T化により園児の登降園状況、保育計画、ヒヤリハットなどが一目で情報共有出来た。保護者様から電話を使用しての欠席連絡や保育園とご家庭を繋ぐ連絡ノートの手入力作業などの負担軽減に配慮しWEB導入も検討している。

第2 法人関係

1 法人役員の定数とその構成

(添付書類参照)

2 法人（理事長・理事・監事）役員の任期

2025年6月定時評議員会から2027年6月定時評議員会まで

3 役員会会議実績

月	会 議 内 容	支 出 額
5 月	決 算 監 査	21,000円
6 月	理 事 会 ●議 案 2024 年度事業報告の認定について 定時評議員会開催日程について 社会福祉法人青梅福祉会理事の改選について 社会福祉法人青梅福祉会監事の改選について 社会福祉法人青梅福祉会評議員の改選・再選について 社会福祉法人青梅福祉会経理規程別表の改正と追加について 社会福祉法人青梅福祉会青梅保育園運営規程の改正と「給食費（副食費）徴収実施要項」の一部追加について 社会福祉法人青梅福祉会給与規程「第4章手当」について ※報告事項 職員の勤勉・期末手当の支給について 理事長選任理事会について 親子リズム体操及び育児講座の反応今後の運営の方向性	49,000円
6 月	定 時 評 議 員 会 ●議 案 2024 年度事業報告の認定について 社会福祉法人青梅福祉会理事の承認について 社会福祉法人青梅福祉会監事の承認について 社会福祉法人青梅福祉会評議員の承認について 社会福祉法人青梅福祉会役員賠償責任保険加入について ※報告事項 職員の勤勉・期末手当の支給率について	70,000円
6 月	理 事 長 選 任 理 事 会 ●議 案 社会福祉法人青梅福祉会理事長の選任について 社会福祉法人青梅福祉会役員の賠償責任保険加入について スチームコンベクションオーブンの購入について	21,000円
8 月	理 事 会（理事会決議の省略に係る異議の確認） ●議 案 社会福祉法人青梅福祉会青梅保育園認可定変更について	

月	会 議 内 容	支 出 額
12月	理 事 会 ●議 案 2025 年度第 1 次補正収支予算（本部拠点区分）について 2025 年度第 1 次補正収支予算（本部拠点区分）について 食材価格高騰に伴う食材費値上げについて 経理規程別表について 青梅保育園認可定員変更について 青梅保育園利用人数変更について 社会福祉法人青梅福祉会定款施行細則「理事会の開催について」 ※報告事項 社会福祉法人青梅福祉会期末・勤勉手当の支給率について 保育園運営について 利用者アンケート結果報告について 育児・介護休業法改正について 園庭整備について 指導検査について 新年職員との懇親会について	49,000円
3月	理 事 会 ●議 案 2025 年度第 2 次補正収支予算（本部拠点区分）について 2025 年度第 2 次補正収支予算（施設拠点区分）について 2026 年度事業計画の認定について 2026 年度収支予算（本部拠点区分）について 2026 年度収支予算（施設拠点区分）について 社会福祉法人青梅福祉会運営規程の改正について 社会福祉法人青梅福祉会定款細則別表 2・3・4・5 の認定について 社会福祉法人青梅福祉会給与の改定について 社会福祉法人青梅福祉会役員報酬の改定について 社会福祉法人青梅福祉会処遇改善第 17 条別表の改定について 社会福祉法人青梅福祉会就業規則の改定について	49,000円

月	会 議 内 容	支 出 額
3 月	社会福祉法人青梅福社会給食業務委託の締結について 社会福祉法人青梅福社会給食業務委託の入札契約締結について ※報告事項 園児数及び保育園運営について 2026 年度契約業者について 指導監査報告 年度末処遇改善手当支給について 令和 8 年度入所状況	

4 役員研修実績

月	研 修 内 容	派 遣 者	支 出 額	
			会 費	旅 費
10	理事長会管外視察研修	理 事 長	15,000 円	0 円
12	保育園連合会法人役員研修	理事・監事	なし	なし

5 定款・規則等の制定・改廃

6 月 経理規程別表の改正と追加

運営規程の改正

「給食費（副食費）徴収実施要項」の一部追加

給与規程「第 4 章手当」の改定

1 2 月 経理規程別表の改定

定款施行細則「理事会の開催」の追加

育児・介護休業法の改定

3 月 運営規程の改定

定款細則別表 2・3・4・5 の認定

給与表の改定

役員報酬の追加

別表「処遇改善第 17 条」の改定

別表「給与規程第 4 章」の改定

就業規則の改定

6 許認可申請および内容変更申請等

8 月 認可定員変更（書面決議）

2 月 利用人数変更届申請

第3 施設関係

1 職員配置

（1）職員構成と職務分担（園児のクラス編成）（3月末）

職 名	氏 名	在職 年数	職 務				備 考
			クラス名	年齢区分	定 員	入所人員	
園 長	板橋 仁美	32.6					
主任保士	杉山あずさ	30.6	保育全般				
保育士	井上 展子	33	ひよこ	0 歳	6	8	
保育士	小笹 理絵	7,7					
保育士	鬼頭 菜月	6.2					
保育士	吉澤 智子	18	りす	1 歳	1 0	12	
保育士	渡邊 実久	7					
保育士	小山 莉穂	9	こあら	2 歳	1 7	8	
保育士	堀 ルミ	5					
保育士	渡邊 純子	33	うさぎ	3 歳～5 歳	3 歳 19	21	3 歳担当
保育士	村木 元夢	4					5 歳担当
保育士	佐藤小百合	15	く ま	3 歳～5 歳	4～5 歳 38	22	4 歳担当
保育士	遠藤ちひろ	5					3 歳担当
保育士	土田 悠加	18,6					育休中
保育士	遠山 紗菜恵	9,6					
庶 務	山田 尚子	30.1	経理事務・用務				
パート看護師	久保 康子	25	医療的ケア児担当 保健管理 保健管理				
パート看護師	小林 由美	1					
パート看護師	細田 恭葉	1					
パート保育士	佐藤 里美	9,3	保育補助				
パート保育士	田中 なをみ	8.5					
パート保育士	山田 みゆき	6,4					
パート保育士	斎藤 杏奈	6					
パート保育士	佐藤 由佳	4,9					
パート保育士	田中喜美子	4.8					
パート保育士	吉原 規栄	4,4					

職 名	氏 名	在職 年数	職 務				備 考
			クラス名	年齢区分	定 員	入所人員	
パート保育士	佐藤 愛	4.4	保育補助				
パート保育士	中瀬 麻美	3	保育補助				
パート保育士	三田野つま子	0.11	保育補助				
用務補助員	田中 恵美	1	保育室等業務補助				
栄養士	業務委託	—	献立・調理担当 3 名				
調理員	業務委託	—	調理担当 2 名				

(2) 採 用 者

正規職員 採用なし

臨時職員 小林 由美・細田 恭葉・田中 恵美（4月1日）
三田野 つま子（5月1日）

(3) 退 職 者

正規職員 小笹 理絵（3月31日）

臨時職員 佐藤 愛 （3月31日）

2 職員会議実績

月	会 議 内 容	人 員	支 出 額
4 月	5月の保育について（行事、クラス便り） 乳幼児健康診断 入園・進級式の振り返り 保育事務（カリキュラム、その他の保育事務）に関する書類の提出と記録の仕方の確認、事務連絡 クラス報告(毎月) 看護師による応急処置の確認	14 人	
5 月	6月の保育について 巡回指導について 虫歯予防指導について 移動動物園実施と振り返り クラス懇談会について 災害時の緊急引渡し訓練と振り返り 園内研修について あおうめまつりについて	13 人	

月	会 議 内 容	人 員	支 出 額
6 月	7 月の保育について 七夕飾り クラス懇談会の振り返り プール開きの活動における衛生と救急対応について ★ 園内研修 乳児「個別保育について」 幼児「午睡の在り方」	13 人 13 人	
7 月	8 月の保育について あおうめまつり・敬老会・運動会について	12 人	
8 月	9 月の保育について（敬老会、運動会、あおうめまつり） プール活動・納めと振り返り各分野担当中間報告	13 人	
9 月	運動会の細部打合せ（係、種目、他） 10 月の保育について（運動会、遠足、健康診断） 敬老会の振り返り 保育参加について	13 人	
10 月	★ 園内研修 運動会の打合せ 11 月の保育について 保育参加について 発表会・クリスマス会について お弁当遠足について	13 人 12 人	
10 月	研修報告 巡回指導報告 ★ 園内研修 「保育現場における危機管理の在り方」	13 人	
11 月	12 月の保育について お弁当遠足の振り返り クリスマス会について 保育参加の報告 発表会について	12 人	
12 月	1 月の保育について 年齢別保育について クリスマス会最終打合せ 新年の集いについて 発表会の振り返り、餅つきについて 思い出遠足について	11 人	
1 月	2 月の保育について・豆まきについて クリスマス会及び新年の集いの振り返り 全体的な計画見直し	8 人	

月	会 議 内 容	人 員	支 出 額
2 月	豆まきの振り返り 3月の保育について 新年度用品について 年間行事の見直しと振り返り 新年度に向けて協議（保育目標、デイリープロ等） 新年度のクラス担任について 指導計画について 行事の見直し、お別れ会と卒園式について	13人	
3 月	卒園式とお別れ会（振り返り） 次年度行事日程決め 入園・進級式(平常保育) 新年度の保育について（日々の保育、全体で行う集会、散歩等） 4月の健康診断について ★ 園内研修 次年度の会議と業務、日程決め	13人	

※ 月1回は、定例職員会議とし、翌月の保育について協議および、事務連絡を行う。また月1回は給食会議で食育活動、献立の検討を行う。年4回園内研修を開催する等、必要に応じて職員会議を開催。

※ ★は、園内研修を意味する。

3 職員の健康管理

区 分	対 象 者	回 数	実 施 時 期	人 員	支 出 額
健康診断 X線、血圧、尿 血液、心電図	全 職 員	1 回	4月～8月	24人	174,119
検 便	全 職 員	12 回 (O-157 検査を含む)	年 間	332人	104,248

4 研修実績

月	研 修 内 容	派 遣 者 名
4 月	東京都社会福祉協議会 常任理事会 園長会 主任部会 青梅市保育園事務協会運営補助金説明会	板 橋 板 橋 板 橋 杉 山 板 橋
5 月	就学までを見通した子どもの発達と保育 東京都社会福祉協議会 常任理事会 園長会 子どもの食事タイムを安全に 学卒求人説明会	渡 邊 板 橋 板 橋 板 橋 久保・細田 板 橋
6 月	インクルーシブ保育について 保活ワンストッププロジェクト 障がいのある子のサポート 医療的ケア児研修 常任理事会 摂食嚥下研修会 東京都保育推進協議会定期総会 園長会 医療的ケア児研修 地域における保育所防災のあり方 プール衛生講習会 東京都社会福祉協議会	吉 澤 杉 山 久 保 久 保 板 橋 遠山・久保 板 橋 板 橋 久 保 杉 山 遠藤・村木 板 橋
7 月	食物アレルギー最新情報 常任理事会 園長会 運動嫌いな子も楽しめる運動遊び 主任部会 乳幼児の栄養・食生活について 東京都社会福祉協議会保育講座 東京都社会福祉協議会保育講座 主任部会 食物アレルギーによる研修	遠 山 板 橋 板 橋 村 木 杉 山 井 上 板 橋 渡 邊 杉 山 小 山
8 月	キャリアアップ研修「幼児教育」 園長会 被災地における福祉支援の必要性 感染症胃腸炎による嘔吐処理方法	小 山 板 橋 杉 山 細 田

月	研 修 内 容	派 遣 者 名
9 月	東京都社会福祉協議会 常任理事会 園長会 主任部会 民生委員推薦委員会 小児疾患と病態研修会	板 橋 板 橋 板 橋 杉 山 板 橋 吉 澤
10 月	常任委員会 お弁当遠足下見 保育現場危機管理の在り方 園長会 ストレスチェック研修会 子どもの偏食について	板 橋 佐藤・村木 全 職 員 板 橋 渡 邊 佐 藤
11 月	虐待防止研修会 東京都キャリアアップ研修 常任理事会 主任部会 法人役員研修会 園長会 全国保育研究大会	堀 杉 山 板 橋 杉 山 板 橋 板 橋 板 橋
12 月	青梅市保育園法人研修会 東社協保育部会研修委員会 園長会 特別支援教室理解研修会 摂食・嚥下指導講習会 摂食・嚥下指導講習会 摂食・嚥下指導講習会 常任理事会 遠足下見 キャリアアップ研修 生成A I ・ C A N V A 研修 生成A I ・ C A N V A 研修	板 橋 板 橋 板 橋 村 木 久 保 久 保 久 保 板 橋 杉山・村木 山 田 山 田 佐 藤
1 月	常任理事会（矢川プラス） 園長会 賀詞交歓会 コミュニケーション研修 東社協地区委員総会 東京都社会福祉協議会	板 橋 板 橋 板 橋 小 山 板 橋 板 橋

月	研 修 内 容	派 遣 者 名
1 月	民生委員推進委員会 西保連役員会 キャリアアップ研修 保育・調理合同研究部会	板 橋 板 橋 佐 藤 堀・佐藤
2 月	園長会 東社協保育部会研修委員会 東京都保育推進協議会 常任委員会 主任部会 キャリアアップ研修 医療的ケア児研修会 キャリアアップ研修 園長・主任合同研修会	板 橋 板 橋 板 橋 板 橋 杉 山 佐 藤 久 保 吉 澤 杉 山
3 月	キャリアアップ研修 園長会 常任委員会 主任部会 母子保健セミナー キャリアアップ研修	杉 山 板 橋 板 橋 杉 山 小 山 吉 澤

5 園児処遇関係

(1) 職員の構成と分担 別紙参照

(2) 園児の健康管理

区 分	対 象 者	年回数	実 施 時 期	延人数	支 出 額
健康診断	全 園 児	2 回	4 月・10 月	139 人	460,000 円
乳児健診	0～2 歳児	12 回	毎 月	316 人	
歯科健診	全 園 児	1 回	6 月	62 人	50,000 円

(3) 食育実施

ア 食育時の指導状況

年齢区分	食 育 目 標
0 歳児	子どもの月齢及び発育状態に応じて、離乳食を開始し離乳食が進むにつれて発育に対応できるような献立にしていく。保育士は介添えをしたり、子どもがコップやスプーンを持って自分で、食べようとする姿を見守る。

年齢区分	食 育 目 標
1 歳児	保育士は、子どもが自分で手を拭けるようにする。最後まで自分で食べよう給食を食べる楽しさを知らせ、好き嫌いをしないようにする。 フォークやスプーンで食事をし、正しい持ち方を身につけていく。
2 歳児	子どもが、食前に手を洗い食後は、口をすすぎ手を拭けるようにする。 給食を食べる楽しさを知らせ、好き嫌いをしないようにする。 フォークやスプーンで食事をし、正しい持ち方を身につけていく。
3 歳児	給食前に、うがい手洗いが出来るようにする。好き嫌いが出てきているので嫌いな物でも少しずつ食べるようにしていく。
4 歳児	食事の支度を自分から進んで出来るようにする。嫌いな物でも食べようとしたり、食事のマナーを知り、友だちと楽しく食べる雰囲気を作っていく。
5 歳児	当番を決め、自分たちで配膳する。こぼしたものの後始末や片付けを覚え学校給食に向けて、決まった時間内にどんな物でも食べられるようにする。

イ 給食の内容

栄養のバランスに留意し、身体の発育をはかる。

(ア) 献立表を作成し、栄養量の適切さをはかる。

(イ) 米食は週3回、粉食週2回とする。(土曜日を除く)

(ウ) 副食、おやつ等は、手製を主とする。

(エ) 肉などに偏らず魚類を取り入れる。

(オ) 野菜を多く使い、食物繊維の摂取に努める。

(カ) 海藻類を取り入れ、乳製品以外からもカルシウムの摂取をはかる。

ウ 衛生管理について

伝染病、食中毒の発生源にならないよう、調理室に於いて次の点に留意する。

食器は洗浄し、消毒庫で保管し、一般炊具も清潔に保管する。

(ア) 鼠、ハエ等の潜入を防止し、常に清掃し、清潔に保つ。

(イ) 調理に当たるものは、衣服、身体を清潔にして従事する。

(ウ) 細菌検査を毎月実施する。

(エ) 食材、検食の2週間保管。

(オ) 冷蔵庫は、定期的に掃除し、温度管理をする。

(カ) 調理は、給食時間に合わせて調理をする。

(4) 保 育

ア 保育方針

- 健康なからだをつくる
- 自然の中でのびのびあそぶ
- 豊かな心、協調性を養う
- 自主的・個別保育及び縦割り保育の導入

イ 年間行事実施状況

月	行 事 実 施 状 況	支 出 額
4 月	入 園 進 級 式（平常保育） 健 康 診 断 乳幼児全員（春）	5,000 年額 460,000
5 月	乳幼児組個人面談 緊急時の引き渡し訓練 移動動物園	0 0 154,000
6 月	乳幼児組個人面談 クラス懇談会（乳児・幼児組） フラワーアレンジメント教室(5 歳) 歯科健診 プール開き 保護者保育参加（試食会）	0 9,100 50,000 0 0
8 月	プール納め	0
9 月	敬 老 会 あおうめまつり	15,970 47040
10 月	運 動 会 健 康 診 断 乳幼児全員（秋） ハロウィン お弁当遠足	41,420 0 1,609 16,832
11 月	シルエット劇場（5 歳児）	17,780
12 月	ク リ ス マ ス 会 フラワーアレンジメント教室(5 歳) 発 表 会 餅 つ き	89,290 14,000 0 5,304
1 月	新年の集い（劇団） 保護者保育参加（試食会） おもいで遠足	77,000 0 115,236
2 月	豆 ま き	740
3 月	お 別 れ 会 卒 園 式 新入園児説明会・個人面談	0 50,730 0
毎 月	避 難 訓 練・乳 児 健 診 身 体 測 定	
火曜日	体 操 教 室（幼児組）	556,600
金曜日	音 楽 リ ズ ム	399,300
その他	障害児巡回指導(年 3 回) 地域の子どもたちと保育交流 誕生会（個々の誕生日に祝う）	0

(5) 安全管理

ア 設備・運営について

非常災害に備えて、消火器、三角バケツを廊下等に設置、非常口の確保、消防計画に基づく避難、消火、通報訓練を毎月行い、有事に備える。

(ア) 構築物の維持管理

(イ) 消防用設備等の点検整備及び定期検査

(ウ) 火気設備の整備・点検

(エ) 毎月実施する防災避難訓練 防犯訓練

(オ) 遊具、机、椅子、玩具類の点検、整備

(カ) ダムウェイターの管理 隔月に点検

(キ) 害虫駆除

(6) その他の事項

園舎機械警備 セコム・セキュリティハウスに委託

非常通報装置（学校110番）保守点検

保護者等へ緊急時、園からメールにより携帯電話に連絡を行う。

6 施設整備状況

(1) 園舎の増改築

なし

補修工事の状況

支線ガード撤去及び設置工事 39,000 円

りす組網戸貼替工事 15,510 円

排煙窓 不良個所改修工事 44,000 円

1 歳児流し排水不良 16,280 円

小便器用目皿 6 個 60,720 円

生ごみ処理機 扉センサー交換工事 11,000 円

りす・こあら組流し前パネル貼替工事 135,630 円

りす・こあら組流し台下建具修理 14,740 円

厨房水栓水漏れ部品交換 11,000 円

室外機漏水修理 55,000 円

2 階給湯器廻り漏水修理・厨房トイレ詰まり高圧洗浄清掃 28,380 円

(2) 固定資産物品購入状況

木製サークル取付工事 237,600 円

スチームコンベクションオーブン 1,700,000 円

給湯器（シャワー室） 121,000 円

遠心分離式ミストファン 104,500 円

シエスタ BeBe スマート（医療的ケア児用） 130,000 円

(3) 備品の購入状況

電波からくり時計（玄関） 29,678 円

看板(お願い看板)	44,000 円
象印 IH 炊飯ジャー一升炊き (うさぎ組)	15,460 円
おむつ台 (沐浴室用) ひよこ組	33,440 円
UPS 本体 (はぐくむ保育バックアップ用バッテリー)	22,000 円
電子キーボード	10,800 円
パルスオキシメーター	14,300 円
抱っこ紐	27,280 円
ジェットノズル付きスポットクーラー (乳児組) 3 台	214,500 円

7 災害対策

(1) 避難訓練実施状況

月	訓 練 種 別	月	訓 練 種 別
4	通報・消火、避難訓練 (園庭) 引渡し訓練	10	総合訓練・通報、消火、避難
5	通報・消火、避難訓練 (園庭)	11	通報・地震、消火、避難 (消防署の立ち合い)
6	通報・消火、避難訓練 (園庭)	12	通報・消火、避難訓練 (第2 避難所避難)
7	通報・消火、避難訓練 (園庭)	1	通報・消火、避難訓練
8	地震により消火、避難訓練 防災ズキン着用	2	通報、消火、避難訓練 (時間指定なし)
9	地震、通報・消火、避難訓練	3	地震、通報 (時間指定なし) 消火、避難訓練

(2) 防災設備の保守点検

消防署査察 年 1 回 (時期未定)

自主点検 防火管理者 年 2 回 4 月 1 0 月

業者委託 機能・外観検査各 1 回

消防署へ年 1 回 (1 1 月) 届出 委託料 33,000 円

(3) 災害対策用品購入状況

購入なし

8 保護者との関係

(1) 園に対する理解と協力の状況

※ 重要事項説明書

※ 園だより、リーダーだより、クラスだより、給食だより、献立表を毎月、保健だより隔月発行

※ 保護者が行事に参加 (運動会、発表会)

※ 個人面談、クラス懇談会

※ 保育参加

9 地域社会との関係

月	交 流 内 容	支 出 額	月	交 流 内 容	支 出 額
5	移動動物園	154,000	10	運動会	41,420
9	あおうめまつり	36,169	12	クリスマス会	89,290
9	敬老会	15,970	1	新年の集い観劇	77,000

10 苦情処理

提供するサービスについて、利用者からの意見・要望・苦情を解決するため「青梅保育園利用者の意見・要望等の相談解決実施要領」に基づき苦情処理を行う。

- ご意見箱の設置
- 担当者 主任保育士
- 責任者 園長
- 第三者委員 細 谷 眞 人・守 谷 直 記（2027 年 6 月定時評議員会まで）

第4 添付書類

- 法人役員名簿
- 保育の年間指導計画書振り返り

法人役員名簿 *個人情報保護のため氏名のみ掲載

社会福祉法人 青梅福祉会 理事・監事・評議員名簿

法人名	青梅福祉会	法人設立年月日	1993年3月29日					
法人所在地	青梅市滝ノ上町 1274-1	理事	6名	監事	2名	評議員	7名	

2027年定時評議員会開催まで

役職名	氏名	役職名	氏名
理事長	山崎 善孝	理事	知久 一成
理事	並木 邦仁	理事	遠藤 隆喜
理事	並木 哲朗	理事	板橋 仁美
監事	細谷 真人	監事	守谷 直記

2029年定時評議員会開催まで

役職名	氏名	役職名	氏名
評議員	渡邊 茂則	評議員	長 秀行
評議員	本多 徹	評議員	岩浪 武夫
評議員	青柳 康彦	評議員	氏江 正二
評議員	細谷 公一		

年間組別指導計画		ひよこ組	男児	4 名	担当	井上 展子 小笹 輝絵 窪山 紗葉恵	承認	園 長	
令和07年度		0歳	女児	4 名		奥頭 菜月		副・主	
期の振り返り / 評価反省	1 期 (0 4 月～0 5 月)				2 期 (0 6 月～0 8 月)				
	慣れ保育は無理なく進めることが出来た。登園後の早い時間に散歩に出掛けることで戸外活動が出来、自由に歩いたり、動けることが出来た。低月・高月齢児に分かれて保育できたのは良かった。				水遊びや感触遊びを取り入れ保育することが出来た。子どもたちも水を嫌がることなく楽しんで過ごし、顔や体に水がかかっても泣かずに遊んでいる姿が多く見られた。				
	3 期 (0 9 月～1 2 月)				4 期 (0 1 月～0 3 月)				
	戸外活動が増え、園庭遊びや散歩に行つて過ごした。歩行が安定して来た子もハイハイの子も良く動いている。自由に動きたい気持ちが強く、散歩は手つなぎを嫌がったり途中でしゃがみこむ姿も見られた。言葉がかなり増え、子ども同士のやり取りも良く見られるようになってきた。				活動量も増えて来たため、大池先生の運動遊びに参加したり、園庭遊びの時間や散歩の距離も延ばし十分に体を動かすようにしていった。また部屋ではままごとコーナーを設け少しづつ友だちとの関わりを意識するよう促したり、手先・指先を使った机上遊びも沢山取り入れていった。体調を崩す子もいなくて毎日元気いっぱいの子もたちと沢山の経験が出来たと思う。				
年間のまとめ	6名からの保育で始まり月齢の差がほとんど無く同じ活動が出来て保育の見通しがスムーズに行えてよかった。保育士の入れ替わりがあったが、子どもたちは乱れることなく落ち着いた保育を継続することが出来た。夏の水遊びを活発に行うことが出来て子どもたちの成長を感じる場面も多くなって良かった。10月から月齢の低い子が2名入ったが保育室や保育士にもすぐに慣れ保育を行うことが出来た。後半散歩や園庭遊びも活発になり運動遊びを取り入れることで手足の使い方や体全体を使った遊びを通して更に成長を感じることが出来た。個別遊びを少しづつ取り入れることで順番を待ったり、他児のしていることへの興味の幅が広がった。使ったものを元に戻すことや片付けについても無理なく進めることが出来た。全体的な計画に基づき保育を行った。								

年間組別指導計画		りす組	男児	4 名	担当	古澤 智子	渡邊 実久	承認	園 長
令和07年度		1 歳	女児	8 名					副・主
期の振り返り / 評価反省	1 期 (0 4 月～0 5 月)				2 期 (0 6 月～0 8 月)				
	進級児7名、新入園児3名でスタート。進級児は環境の変化にも動じることなく、落ち着いて過ごすことが出来た。新入園児は初めての集団生活と言う事もあり、しばらく泣くことが続いた。保育中にまなが痙攣を起こし、救急車を呼ぶことが2回あった。この件を機に職員間の連携の大切さを痛感した。5月の暑い日は泥んこ遊びを楽しめた。				気温が高すぎない時は、泥んこ遊びを引き続き行なった。 6月から水遊びを始める。だんだんとダイナミックに遊ぶようになった。すくったり、掛けたり好きな遊びを楽しむことが出来た。泡立てや色水を使って遊んだ。水遊びだけでなく感触遊び(寒天や高野豆腐など)もする。工夫をしながら室内で過ごした。 まなほ、クールベストを着用し過ごした。				
	3 期 (0 9 月～1 2 月)				4 期 (0 1 月～0 3 月)				
	9月の初めまでは水遊びを楽しむことが出来た。暑い日が続き気温を見ながら外遊びを行った。散歩にもまた出掛けられるようになり、こあらぐみと合同で釜の淵公園に行くなど歩く距離も伸びてきた。友だちとの手つなぎ歩きも上手になってきた。どんぐり拾いや木の実拾いをして秋を感じる事が出来た。永山には、熊の情報があったので行けず残念だった。				子ども同士の関わりが増え、他児と一緒に玩具で遊ぶ姿が見られるようになった。それに伴い玩具や場所の取り合い等のトラブルも増える。叩いたり噛みついたりといった行動も見られたので、見守りに気を配った。机上での遊びにも慣れ、集中して遊ぶ姿も見られた。トイレトレーニングでは自分から便座に座る子も増え、少しずつ排尿できる子も増えて来た。				
年間のまとめ	この1年間、子どもたちは保育士との信頼関係を築きながら、保育園での活動を楽しみ、少しずつ出来ることを増やしていったと思う。また、クラス内に難病を抱えた児童1名と医療ケア児1名がいたことで、個々が自分らしく自分にできる関わりが出来よう心掛けた。子ども同士の関わりは病の垣根を超え、自然と思いやりや気遣いの姿も見られた。 言葉のやり取りが増えたことで友だち同士の関わりが増えた。それに伴い思い通りに行かないジレンマや自己主張から、嘔みつきや手が出るなどの行動も見られたが、その都度子どもの気持ちを代弁し、言葉をかけ続けた。 生活面では食事、着脱、排泄などの基本的な生活習慣に少しずつ自分から関わろうとする姿が見られた。自分でやりたい気持ちを大切に援助した。 家庭との連携も深めながら子どもたちの育ちを支援できるよう心掛け保育できたと思う。								

年間組別指導計画		こあら組	男児	4 名	担当	小山 潤穂	堀 ルミ		承認	園 長	
令和07年度		2歳	女児	4 名						副・主	
期の振り返り / 評価反省	1 期（0 4 月～0 5 月）					2 期（0 6 月～0 8 月）					
	環境の変化に少々落ち着かなかったり、些細なことでも泣いてしまうなど不安定な姿も見られたが後半は落ち着き楽しく過ごせていた。こいのぼりも絵の具を使い楽しみながら制作をしたり、園庭遊びや長距離の散歩も上手に手を繋いでいくことが出来るようになった。身の回りの事も自分でやろうとする姿が見られるので保育士は励ましながらさりげなく援助している。					暑い日が多く、泥んこ遊びや水遊びを気温を見ながら楽しんだ。体調を崩す子もなく、元気に過ごせた。水遊びでは泡で洗濯をしたり、色水を作り色の変化を楽しんでいた。後半は盆踊りを幼児組と一緒に踊り楽しんだ。また、二階のトイレに行ってみると嫌がる子も数回行ってみるうちに慣れてきていけるようになっていた。					
	3 期（0 9 月～1 2 月）					4 期（0 1 月～0 3 月）					
	初めての運動会を経験し、一回り成長した姿がみられた。会場の下見をしたり、何をするかの話を事前にする事で当日も練習通り参加することが出来た。それから、リズム遊びなどみんなで集まって遊ぶ姿が多く見られるようになった。友だち同士のトラブルも増えてきたが、言葉で解決しようと話す場面も増えた。散歩マップを作成し、子どもたちと散歩先を決めたり、地図への興味にもつながった。					年明けから、進級を意識して活動を続け2月から移行を始めた。環境の変化にはすぐに慣れ、幼児のお兄さんお姉さんの姿を観察していた。こあら組で培ってきた経験や出来るようになった事は、しっかりやっていて、ベッドシーツを畳むことや食事の食べ方など意識出来ている。自分でやりたい。という気持ちが強くあるので。その気持ちを大切にしていきたい。					
子どもたちの成長を見守りながら、子どもたちのやりたい。という気持ちを大切にできることは自分でやることを意識して活動をしてきた。散歩に行く機会が多かったので、散歩マップを作成し、子どもたちが行き先を決めたり、地図への関心が上がった。その為、自主性が育まれていると感じている。週末のベッドシーツ畳みは難しいが、一人で綺麗に畳めるようになってたり達成感も味わっている。元気に伸び伸び過ごすことができた一年だった。											
年間のまとめ											

年間組別指導計画	うさぎ組	男児 13 名	担当	渡邊 紘子 村木 元夢	承認	園 長
令和07年度	3歳～5歳	女児 9 名				副・主
期の振り返り / 評価反省	1 期 (0 4 月～0 5 月)		2 期 (0 6 月～0 8 月)			
	担任や黄組のクラス替えもあり、少し変わったが落ち着いて過ごせた。黄青組は年上になった自覚が芽生えてきたのか、積極的に赤組のお世話をしてくれたりお当番活動をよくしてくれた。赤組は身支度など少しずつ身に付き一人で出来るようになってきた。これから一人で出来る力、やろうとする姿勢などを伸ばしていけたらと思う。		保育参加や列年より少し早く始めたプール活動もあり、この夏での成長を感じられた。保育参加では青組がお当番としてお茶のサービスをしたり、日々の生活の姿を見せられたと思う。赤組も身支度などに付き、おしぼりをしぼったり給食の配膳もできるようになった。プール活動では黄青組は昨年の経験もあり、着替えから全てスピード感が出ていた。自分たちでやる力が身に付いた。赤組も最初はお手伝いをしていたが、徐々に慣れ最後は一人で着替え等もできるようになっていた。水にも慣れ、沢山泳げるようになっていたので、子どもたち自身に自信がついたと思う。この経験を生かして今後の行事（運動会など）に繋げていけたらと思う。			
	3 期 (0 9 月～1 2 月)		4 期 (0 1 月～0 3 月)			
	9月でも残暑が残り、園庭遊びができずに室内で過ごす時間が多かった。そこに加え、運動会の練習もありバタバタしていて、様々な準備などがギリギリになってしまったところは反省。今後の運動会は体育館で行う方向であるため、練習がホールでできるのはありがたい。運動会も無事成功し、今年出た反省をこれからに生かしていきたい。運動会が終わり年齢別の生活になった。それぞれ発表会に向けて練習を行い、年齢で過ごす時間も成長につながったと思う。次は進級に向けて学年ごとできることを増やせていけたらと思う。		年齢別から縦割りクラスに戻り、それぞれが成長した部分が見られた。こあら組の移行が早かったこともあり、赤黄組はお手本となる様に気が引き締まり、良い刺激になったと思う。また、進級に向けて率先して動いてくれた。マラソン大会やスポーツ大会などイベントにも全員で楽しく参加出来たので良かった。青組は卒園式後は別で過ごした。野球なども行えて、子どもたちの成長やいい思い出になったと思う。			
年間のまとめ	昨年に引き続き、担任が大きく変わらなかったこともあり子どもたちとの信頼関係もすぐに築けたと思う。全体的に落ち着いて過ごせていたが、遊びに飽きてフラフラする子が目立ったので、環境整備や玩具の入れ替えなどが滞っていたのが反省点。行事などでは、新しい試みがいくつかあり戸惑うこともあったが、子どもたちと協力して乗り越えることができたのでいい経験になったと思う。今年度は様々なことがギリギリになってしまうことが多かったため、前もっての声掛けや情報共有をしていけたらと思った。					

年間組別指導計画		くま組		男児 15 名		担当	佐藤 小百合 遠藤 ちひろ		承認	園 長		
令和07年度		3歳～5歳		女児 8 名						副・主		
期の振り返り / 評価反省	1 期（0 4 月～0 5 月）					2 期（0 6 月～0 8 月）						
	赤組は、移行期間のおかげで生活習慣などスムーズに慣れることが出来た。黄・青組も進級し、自分たちの役割など理解し慣れてきた。話を聞くことの大切さを様々な活動に際し話している。活動の基本になることなので引き続き話していきたい。散歩など、配置職員の関係から、うさぎ・くまで合同で活動している。見守りの目も数多くあり、子ども一人一人にも対応できている。					早い時期から気温の上昇があり、水分補給や遊びの環境に注意が必要だった。今年は、プール活動を早めたくさん水に触れることができた。慣れるにしたがって、黄青は、身支度などのスピードが速くなったり、赤組も、自分でしようという意欲が表れる等、大きく成長した。暑さ対策で、プールの回転を2回にするため、黄組を赤組と青組に分け活動したが、青組に入った子どもたちは、刺激を受け泳力が高まったり、赤組に入った子は、小さい子どもたちを引っ張るなど、良い影響が見られた。						
	3 期（0 9 月～1 2 月）					4 期（0 1 月～0 3 月）						
	9月になっても暑さが収まらず、園庭遊びができない日が続いた。もちろん、運動会の練習もホールを使用しながら進めたが、これからは、室内での練習が主流になっていくと思われる。今年は、初めて小学校の体育館を会場として運動会を企画。様々な意見があったが、とても良い運動会となり、今後の指針となった。運動会後は、年齢別保育となり発表会に向けて活動した。各年齢とも、同学年で切磋琢磨し、良くまとまっていた。一つの目標に向かって活動することで、大きく成長できた。ただ、秋の良い季節に散歩などで季節感を感じることができず、少し残念な気持ちもある。					クラスのまとまり、団結力ができて日々の保育の中でのイベントなどは盛り上がり続けた。くま組らしく素直で明るく伸び伸びと過ごすことができた。こあら組が早くから移行に来ていた為、「見本になる」ということを意識したりと進級を意識した行動が見られ、成長を更に感じられた4期だった。だが明るいところがくま組の良さであったが、ふざけが伝染していったりと裏目に出してしまうことも多くあり、その都度声を掛けていった。卒園式後からは、青組は別で過ごし、担任とサッカーや野球をしたりと楽しい思い出を作ることができた。マラソン大会やスポーツ大会など日々の保育を楽しめた。						
移行期間があることで、年度始まりや年度末などクラスに良い影響を与えてくれていた。クラスの特徴なのか、元気が良く子どもらしいクラスではあったが、前半は、話を聞く姿勢や落ち着きのなさに、悩みも多かった。しかし、その子らしさを受け入れ過ごすうちに、4期には、団結力のある良いクラスになったと感じる。担任との信頼関係も築くことが出来た。プール活動や・運動会では、暑さ対策から、様々な工夫や、体育館の使用など、新たな試みを加え、あおうめまつりも復活。子ども・保育園・保護者との良いつながりが出来たと感じる。マラソン大会やスポーツ大会も定着し、充実した保育園生活を送ることが出来た。秋以降の散歩については、発表会や、行事との兼ね合いもあり、あまり散歩へ行くことが出来ず残念だったが、最後に、みんなで桜を見に行くことが出来良かった。												
年間のまとめ												